



Subaru

男声合唱団 ニュース№615 17. 6. 21

第1部全曲(16日)「特団員と共に」の4曲と 催しものでの出演曲のレッスン(18日)!

6月16日/18日

□6月16日(金) 18:00~20:30 昴定例レッスンが開催されました。

佃さんの体操と千秋さんのヴォイストレーニングのあと、本並先生の指揮で、第11回コンサート第1部の曲「日々草」「花の歌」「ぶどうとかたぼみ」「君死にたまふことなかれ」「想像力」「忘れっぽい人に」を、休憩と連絡事項報告のあと伊藤さんの指揮で、「降りつむ」「街を返せ」を、最後に「このみち」をレッスンしました。ピアニストは西應静さん。参加者は全40名でした。



□6月18日(日)は14:00~17:00 昴定例レッスンが行われました。佃さんの体操と千秋さんのヴォイストレーニングのあと、今日は、本並先生の指揮で「フィンランディア」「ルスカエポーリエ」をしっかりと歌ったあと、11回コンサート特別団員練習用パートテープ作りの録音をしながら、「さとうきび畑」「芭蕉布」「労働者の合唱」「沖縄を返せ」の4曲を合唱しました。休憩・「連絡事項報告」を挟んで、伊藤さんの指揮で、7月16日に出演する「守口9条の会・平和のつどい」の曲目「歓びのナーダム」「林道人夫」「仕事の歌」「ぶどうとかたぼみ」「このみち」「街を返せ」「昴」「Six pence」「フィンランディア」をレッスンしました。最後に、7月25日の「日中友好コンサート」に出演されるプロ歌手・李紫君さんが来訪されました。当日昴がうたう「歓びのナーダム」「仕事の歌」「このみち」「大海、故郷」を合唱披露したあと、「大海、故郷」の中国語の発音指導を受け、彼女の素敵なおソプラノの声とともに「大海」を歌い上げました。ピアノは森二三さん。参加者は全39名でした。

場所 守口市中央コミュニティセンター(旧中央公民館)5階ホール 2008年、2012年にも公演しました。
 集合 12:00 リハーサル 12:03~12:55
 開会 13:30 主催者挨拶後 本番
 服装 夏シャツ 9条バッジ
 控え室 ありませんので着替えは舞台裏の空きスペースで

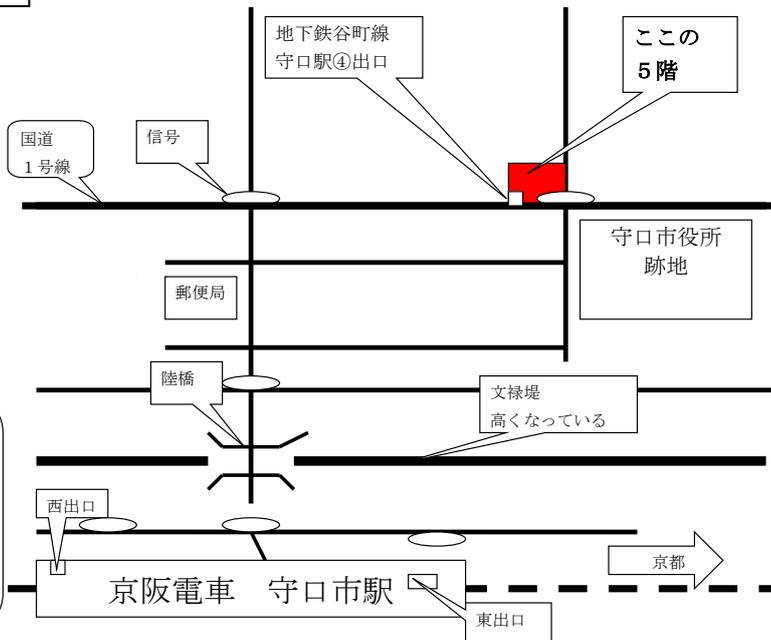
ねむかホール(訂正)

公演終了後、ネムカホールでレッスンを行ないます。

演奏曲

- ① 歓びのナーダム CM MC
- ② ぶどうとかたばみ
- ③ 林道人夫 CM MC
千秋昌弘ソロ(2曲)
- ④ Nessun Dorma
- ⑤ 桑畑 MC
- ⑥ 仕事の歌
- ⑦ フィンランディア MC
- ⑧ この道
- ⑨ 街を返せ
- ⑩ 昂
アンコール Six Pence

指揮 伊藤知 ピアノ 森二三



地下鉄 谷町線 守口駅④出口
 大日行き 10分に1本
 東梅田から15分
 天王寺から29分
 京阪電車 守口市駅より7~10分
 京橋駅より守口市駅まで
 急行・準急・区間急行で一駅5分

6月30日(金) 18:00~20:30 末廣亜矢子特別レッスン
レッスン曲目:「君死にたまふことなかれ」
自宅での事前レッスンを必ずしてきてください!

「ちばりょー沖縄」の報告
「沖縄支援連帯ツアー」のメンバーからの報告(第2弾)
大阪うたごえ協議会沖縄連帯支援ツアーに参加して。
 男声合唱団昂所属 吉田雄三 2017年6月10日

今回のツアーに参加したのは第一に戦後72年いまだにアメリカの半従属的、非民主主義的なことを沖縄県民に押し付けている現状から私たちは何をしなければならぬかをしっかりつかむ事。第二に年末に行う昂のコンサートで沖縄に心をよせて特別団員と歌いかわすために、その糧になればと思い参加しました。

◎辺野古にて

あなたは知っていますか?

縄文から生き続けている青いサンゴ礁が大浦湾に居る事を。シュゴンが生息している大浦湾を今大型クレーンで土砂を埋めていることを。国は海底破碎する法的な根拠はないのに強引な聞く耳持たずの埋め立てを強行していることを。辺野古の人たちはキャンプシュワブのゲート前で抗議の座り込みを1053日(2017年5月24日現在)続けていることを。そして機動隊や権力は座り込みの住民を力で排除しようとしていることを。

あなたは知っていますか? 戦中、戦後の長きにわたり厳しい状況の中で生き抜いてこられた辺野古の嘉陽のおじいやマチニーのおばあが若者たちに呼びかけた言葉を。「若者よ! 辺野古の海を守らんか! その為にはわれらは人柱にでもなるぞ!」と。また、おじいやおばあはとっくに過ぎ去った成人式の

認定書を発行して「気持ちも身体も20歳」だと。そうして辺野古を守る闘いは大きく広がっていったことを。

◎伊江島にて

あなたは知っていましたか？

伊江島の人たちは戦争中に日本軍やアメリカ軍に殺され、強制的に島外へ追い出された島民たちは終戦2年後に自分の家に帰り、荒れた田畑を耕し始めた事を。10年後ふたたびアメリカによって、飛行場をつくる為に強引に家屋や田畑をブルドーザーで壊し尽くされたことを。「土地を返せ！家を返せ！」「一坪たりとも渡すまい」と非暴力の闘いを続けた団結小屋があることを。沖縄は日本に復帰して45年。でも土地は全面返還されずにいることを。基地の中で田畑を耕して生業をしていることを。沖縄の「ガンジー」と呼ばれた阿波根昌鴻という人がいたことを。謝花悦子さんのお話は締めくくられた。選挙で勝って政治の流れを変えなくてはと。

あなたは何をしなければならぬかを掴みましたか？

戦後72年たった現在もアメリカの基地があり、基地の中に沖縄があるかのごとく思える状況を本来の姿に戻すために、戦争を知らない世代が多くなるこの時代に、共に闘い新しい日本にするために。今しなければならないことを……。

「ちばりょー沖縄」の報告

「沖縄支援連帯ツアー」のメンバーからの報告(第3弾)

青い空は青いままで 碧い海は碧いままで

立川孝信

エメラルドグリーンから紺碧の海へとつづく沖縄の海、晴れ渡るコバルトブルーの沖縄の空、そして色とりどりに咲くハイビスカス・月桃・百合の花々—この島に立つとき誰が基地の島と思うだろうか。島人は底抜けに明るく歌い踊る、それはこの自然や大地が培ったもの、沖縄をこのままの平和の島であってほしいと誰もが思うだろう。

しかしあの戦争から72年も経つというのに沖縄は戦争が終わっていない。いいや更に人殺しの基地の島にしようという輩がいる。基地あるために多くの命が奪われた。私たちは見た集団自決のガマを、いいや強制集団死のガマを、きっとあの時、あのガマからあの美しい空と海を見たとき「生きたい」と思ったに違いない。もう二度とこんな思いを人間にいいや生きとし生けるものに思わせてはならない。

天皇主権・軍国主義の下でアジアの諸国を侵略し、2000万人もの犠牲を出し、日本国民も未来ある若者をはじめ300万人もの死者を出した、その反省に立って世界の優れた憲法を学び作られたのが日本国憲法である。この憲法の下人々の命は何よりも尊く重い、そして二度と戦争をしないと誓い世界に先駆けて戦争の放棄を宣言した。今やこの憲法は世界のお手本となっている。あのベトナム戦争で殺人兵器にされ精神を病んだアメリカ兵はアメリカにも憲法9条があったらと平和を訴えている。この72年間どこの国とも戦争せず誰も殺さなかった、この事実が物語るように9条こそ平和貢献であり世界の宝です。

しかしこともあろうに憲法制定70年の今年、安倍首相は憲法改悪・9条を死文化する軍隊を持つことを発言した。憲法99条には「国会議員はこの憲法を尊重し擁護する義務を負う」と明記されている。

このツアーでお世話いただいた大阪出身で沖縄在住の上野さんや、伊江島平和資料館の謝花さんが言われた「沖縄には自民党議員は一人もいない、皆さん選挙に勝ってください」の言葉が心に重く響いた。あの暗黒の時代に引き戻そうとする安倍政治許さないの声を、うたごえをもっともっと上げていこうではありませんか。

2つのコンサートに昂のメンバーが出演します！！

「関西紫金草合唱団」コンサート(7/7) 「八月の祈り '17アニュアル・コンサート」(8/1)

